

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【公開番号】特開2014-208118(P2014-208118A)

【公開日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-061

【出願番号】特願2014-99054(P2014-99054)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月27日 (2014.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口への遊技球の入球に基づいて乱数を取得する乱数取得手段と、

前記乱数取得手段により取得される乱数に基づいて、当たり判定処理を行う当たり判定手段と、

前記当たり判定手段による当たり判定処理の結果が当たりであることに基づいて、当たり遊技を行う当たり遊技実行手段と、

前記乱数取得手段により乱数が取得された場合、この乱数が供される当たり判定処理をその実行条件が成立するまで待機させて保留する遊技保留手段と、

前記当たり判定処理にかかる実行条件が成立することによりその保留状態が解除された以降、該当たり判定処理の結果に基づいて、図柄の変動表示にかかる制御を行う変動表示制御手段と、

前記遊技保留手段によって保留されている当たり判定処理についての保留の状況が示される領域に、該当たり判定処理についての当たり期待度が示される保留演出画像を出現させる制御を実行可能な保留演出制御手段と、

前記遊技保留手段によって保留されている当たり判定処理のうちの特定の当たり判定処理に対して前記保留演出画像が現れているなかで保留状態にある他の当たり判定処理にかかる実行条件が成立した場合、前記保留演出画像に対して第 1 の演出結果及び第 2 の演出結果の分岐点を有する動的表示としての分岐アクションを開始させ、該分岐アクションが開始されてからの時間の経過によりその動的表示が第 1 の演出結果及び第 2 の演出結果のいずれに分岐していくのかを前記実行条件の成立した 1 回の他の当たり判定処理の結果に応じた図柄の変動表示が行われる期間内で示す制御を実行可能な進展表示制御手段と

を備え、前記分岐アクションが開始されてからの時間の経過によりその動的表示が第 1 の演出結果に分岐していく場合と第 2 の演出結果に分岐していく場合とで異なる当たり期待度であることが示されうるものであって、

さらに、

前記保留演出画像として当たり期待度の異なる複数の態様が用意されており、

前記第 1 の演出結果に分岐していく分岐アクションが開始されて特定の保留演出画像が表示された場合、該特定の保留演出画像についての前記当たり判定処理にかかる実行条件

が成立することにより前記変動表示制御手段により行われる前記図柄の変動表示にかかる制御として、特定の変動種別にかかる変動表示が実行されるように構成されてなり、

さらに、

前記保留演出画像に対して前記第１の演出結果に分岐していく分岐アクションが開始されて該保留演出画像が当たり期待度の異なる態様の保留演出画像に変化した場合、該変化した保留演出画像を、さらに当たり期待度の異なる態様の保留演出画像へと変化させるように制御する手段を有する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項２】

請求項１に記載の遊技機において、  
所定の発光演出が行われるランプ装置をさらに備える  
ことを特徴とする遊技機。

【請求項３】

請求項１または２に記載の遊技機において、  
所定の音響演出が行われるスピーカ装置をさらに備える  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

しかしながら、上記保留遊技が実現される遊技機では、始動口に遊技球が入球された場合であっても、当該入球に応じた当落判定処理は、所定の始動条件が成立してその消化順となるまで実行されず、遊技興趣が低下しかねない。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

そこで、本発明は上記課題に鑑みてなされたもので、興趣の低下を抑制することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

こうした目的を達成するため、請求項１に記載の発明では、始動口への遊技球の入球に基づいて乱数を取得する乱数取得手段と、前記乱数取得手段により取得される乱数に基づいて、当たり判定処理を行う当たり判定手段と、前記当たり判定手段による当たり判定処理の結果が当たりであることに基づいて、当たり遊技を行う当たり遊技実行手段と、前記乱数取得手段により乱数が取得された場合、この乱数が供される当たり判定処理をその実行条件が成立するまで待機させて保留する遊技保留手段と、前記当たり判定処理にかかる

実行条件が成立することによりその保留状態が解除された以降、該当たり判定処理の結果に基づいて、図柄の変動表示にかかる制御を行う変動表示制御手段と、前記遊技保留手段によって保留されている当たり判定処理についての保留の状況が示される領域に、該当たり判定処理についての当たり期待度が示される保留演出画像を出現させる制御を実行可能な保留演出制御手段と、前記遊技保留手段によって保留されている当たり判定処理のうちの特定の当たり判定処理に対して前記保留演出画像が現れているなかで保留状態にある他の当たり判定処理にかかる実行条件が成立した場合、前記保留演出画像に対して第1の演出結果及び第2の演出結果の分岐点を有する動的表示としての分岐アクションを開始させ、該分岐アクションが開始されてからの時間の経過によりその動的表示が第1の演出結果及び第2の演出結果のいずれに分岐していくのかを前記実行条件の成立した1回の他の当たり判定処理の結果に応じた図柄の変動表示が行われる期間内で示す制御を実行可能な進展表示制御手段と

を備え、前記分岐アクションが開始されてからの時間の経過によりその動的表示が第1の演出結果に分岐していく場合と第2の演出結果に分岐していく場合とで異なる当たり期待度であることが示されうるようにしたものであって、さらに、前記保留演出画像として当たり期待度の異なる複数の態様が用意されており、前記第1の演出結果に分岐していく分岐アクションが開始されて特定の保留演出画像が表示された場合、該特定の保留演出画像についての前記当たり判定処理にかかる実行条件が成立することにより前記変動表示制御手段により行われる前記図柄の変動表示にかかる制御として、特定の変動種別にかかる変動表示が実行されるように構成されてなり、さらに、前記保留演出画像に対して前記第1の演出結果に分岐していく分岐アクションが開始されて該保留演出画像が当たり期待度の異なる態様の保留演出画像に変化した場合、該変化した保留演出画像を、さらに当たり期待度の異なる態様の保留演出画像へと変化させるように制御する手段を有することを要旨とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

このように、本発明は、興趣の低下を抑制することができる。